

## 「1年を締めくくるテスト」(文責:宇都)

2月13日から16日の4日間、学年末考査がありました。良い結果だった人もいれば、そうではない人もいて結果は様々ですが、テストを受けて終わりではなく自分の取り組みを振り返り次に活かすことが大切になってきます。私自身はいつもより時間をかけて答えを考えたことが良かったと思います。良くなかったことはテスト勉強で効率の良い勉強が余りできなかったり、集中力が続かなかったりしたことです。普段から少しずつ学習時間を増やし効率の良い勉強法を探し、集中力を付けていきたいです。また、問題文をしっかりと読み込んでいないところがあり、もしかしたら点が取れたかもと後悔しています。次からはしっかり問題文を読み込んで答えます。今回はテスト最終日に介護職員初任者研修の評価テストがあり、その対策と同時進行で大変でしたが、3年生は就職活動や国家試験などもあるため今より大変になります。だからこそ今回のテストの振り返りを活かして少しでも後悔のないようにしたいです。

## 「介護職員初任者研修の取り組みに対する反省」(文責:松野下)

2月16日に「介護職員初任者研修」の評価テストがありました。私はいつもの定期考査のペースで勉強をしていたため、初任者研修テストの前日になって、あまり試験の内容を覚えられていないという状態になってしまいました。そのため、前日に知識を詰め込まなければならず、とても苦しい思いをしました。

初任者研修のテストは自分が思っていたより手応えがあったけれど、寝不足などで体調が万全な状態ではなかったため、力をすべて出し切れなかったと感じ、今までの初任者研修対策に対する自分の取り組みをとて後悔しました。先生方に小テストを作っていたいたり、放課後に勉強する時間を作ってもらったりなど、多くの協力をいただいたことで、介護職員初任者研修に合格することができました。来年は模擬試験が毎週のようにあり、定期考査などが重なることも多いと思うので、今のうちに計画的に学習する習慣をつけて、考査や模試の成績を上げていけるようになりたいです。

修了証明書

生

介護福祉法施行令(平成10年政令第412号)  
第3条第1項第1号ロに掲げる介護職員初任者研修  
の課程を修了したことを証明する

### 【編集後記】

続く寒さで背中を丸めている時間が続いていましたが、ふと顔を上げると寒緋桜が咲き始め、春が目前に迫っている感じがつかれます。学校は2月から3月にかけて、年度のとめと次年度の準備に追われます。令和5年度も残り一ヶ月ありますが、考査も含めてまよめの時間に入っています。「まよめ」とは何をするのでしょうか。学校だけでなく、福祉の現場でも「省察的実践」が求められています。自らが課題を設定し、自らが暗黙知を用いながらその状況に対応する能力を指す言葉のようです。実践と振り返りの繰り返しのサイクルを意識することが大切になります。

まだまだ「介護の専門性」については確立したと言える段階にはないかもしれませんが、介護が実践の科学である以上は専門性の確立には実践の積み重ねが必要不可欠になります。高等学校で行われる福祉の専門職教育は何をどの段階までのように教え、育てていくのか、このことが問われているのは私たち教員だと感じているところです。地域の皆様から学んで行きたいと感じています。

(学級担任 岩川亮太)